

FUKUSHIMA

KINICHIRO



「夏休み」1936年／89.0×116.0cm／キャンバスに油彩

福島金一郎没後 30 年記念展

ぱり
— 愛しの仏蘭西 —
Paris

2025.

4.26_{sat} → 6.29_{sun}

開館時間 10:00～18:00（入館は17:30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は、翌平日）

観覧料 一般 300 円、高校生以下無料

※大学生・高齢者（65 歳以上）は 100 円割引（要証明書提示）

※20 人以上の団体は 2 割引

※障がい者手帳をお持ちの方および介助者 1 名は無料（要証明書提示）

※勝央町内在住の 65 歳以上の方は無料（要証明書提示）

※割引の併用は不可



勝央美術文学館
SHOO MUSEUM OF THE ARTS

— 愛しの仏蘭西 —

洋画家 福島金一郎（ふくしま・きんいちろう）は、1897（明治30）年、現在の勝央町勝間田の出雲街道沿いにある老舗和菓子屋「板屋」の次男として生まれました。1925（大正14）年、小出楢重、鍋井克之に師事し、翌年二科展に入選を果たした福島は、その後上京して太平洋画会、前田寛治写真実研究所に入所。1928（昭和3）年にアテネ・フランセを出て渡仏し、アカデミー・ランソンにて、ピッセールやボナールに師事。サロン・ドートンヌに入選するなど画家としての実績を残し4年後に帰国しました。その後は、二科会を拠点として、1994（平成6）年に96歳で亡くなるまで師 ボナール譲りの色彩画家として活躍しました。

本展では、当館が所蔵する油彩画ほぼすべてと滋味あふれる水彩画を会期中に入れ替えをしながらご紹介いたします。



1



2



3



4



5



6



福島金一郎（ふくしまきんいちろう、1897-1994）

- 1897年 現在の岡山県勝田郡勝央町に生まれる
- 1925年 小出楢重、鍋井克之に師事
- 1926年 二科展入選、上京し太平洋画研究会及び、前田寛治写真実研究所に入所
- 1928年 アテネ・フランセを出て渡仏し、アカデミー・ランソンにてピッセール、ボナールに師事
- 1970年 サロン・ドートンヌに出品した「船着場」が仏国政府買上となりバリ近代美術館へ収蔵される
- 1981年 「公園の人々」が内閣総理大臣賞受賞
- 1994年 1月、東京大田区久が原で亡くなる

- 1. 「樹下読書」 1930年／60.5×73.0cm／キャンバスに油彩
- 2. 「リュクサンブール公園にて」 制作年不詳／25.8×34.0cm／紙に水彩
- 3. 不詳[ベンチに座る人々] 制作年不詳／φ8.6cm／板に油彩
- 4. 「公園の午後」 制作年不詳／5.7×23.0cm／板に油彩
- 5. 「公園にて」 制作年不詳／7.8×17.3cm／板に油彩
- 6. 「公園の人々」 1981年／112.0×145.5cm／キャンバスに油彩

**SHOO MUSEUM
OF THE ARTS**

〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 207-4
Tel.0868-38-0270 Fax.0868-38-0260
E-mail shoomuse@town.shoo.okayama.jp

